



全日本私塾教育ネットワーク  
**私塾ネット広報**

第72号

(2021年2月号)



としはじめ  
コロナ下に息災祈る年始 (直人)



全日本私塾教育ネットワーク

理事長 仲野十和田 (ナカジユク)

TEL: 03-3963-5572

<https://shijuku.net>

センター事務局 長江 広紀 (英数学院)

〒211-0044 神奈川県川崎市中原区

新城5-9-25 英数学院内

TEL: 044-788-7556

# |理事長コラム



1月14日(木)、私塾ネットセンターの役員会がZOOMにて開催されました。久しぶりにみなさんにお会いできて、嬉しかったです。

主なテーマは以下のとおりです。

## ■①全国研修大会

皆さん、口々に「東京へ行きたいのだけど…」と言ってくださいますが、「周りが許してくれない感じなんですよね…」と。本当にそうだと思います。コロナ対策は風評対策が大事です。実際東京の方はと言うと、新宿などでは居酒屋が早くから開いていて、結構昼から一杯やっている様子が見られたりします。20時以降はほとんどお店はやってないので、ちょっと抜け出してカフェでひと仕事ということができるのが寂しいです。ただ、20時まではお墨付きをもらえたような風潮もあり、飲食店などは逆に賑わっているところも多い気がします。先日、与党の議員さんが銀座のお遊びで批判を浴びていて、このようないご時世の中、少々神経を疑いたくなりますが、マスメディアの報道も如何なものかと思っています。このような、人を裁くような報道で国民の心に育つものは、「怒り」「国会議員がやっているなら私も…」など、免疫力を下げることと、負の行動ではないでしょうか?本来、免疫力を上げて、主体性のある行動をしていかなければならないのに…。

話を戻します。設立20周年記念大会＆全国研修大会はライブ(きゅりあん:品川区大井町)とZOOMで行います。基調講演は著書『首都感染』で、2010年に新型コロナウィルスを予言していた、高嶋哲夫先生。田中宏道研修部長を中心に、参加型の研修大会を企画しておりますので、みなさん、リモートでも大丈夫です。是非ご参加ください!

## ■②メーリングリストの構築

私塾ネットの活動は、エリアが中心で行ってきたこともあり、全ての会員とメールで繋がることが現在のところできていません。しかし、このようなコロナ禍の中、「繋がること」「情報の発信」がとても大切なことだと考えています。前回、今回と、広報に同封してメールアドレスの登録を呼びかけています。田中宏道研修部長、鈴木学会計部長、エリア代表の方々のご尽力で、かなり集まってきておりますが、まだ未登録の方(重複しても大丈夫です)、是非この機会にメールの登録をお願いいたします。

**仲野十和田(ナカジュク・東京都)**

## ■③新事務局長に長江広紀先生(英数学院)

昨年来、中村庸彦先生の体調があまり優れず、役員会の承認を得て、急遽、長江広紀事務局次長に事務局長として就任していただくことになりました。エリア関東の総務部長との兼任ですので、お忙しいことと思いますが、よろしくお願ひいたします。

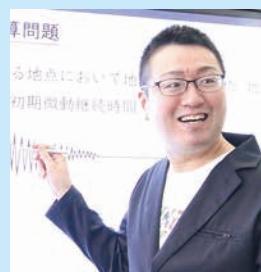


**【自塾のこと】**コロナ禍で、自塾のほとんどのイベントが中止または縮小になっています。昨年末のクリスマス会は、悩んだ末保護者の方へ相談すると、「協力するからやってほしい」とのこと。ケーキ作りは3人のお母さんたちの指導のもと、今年は本物ではなく、100均で材料をそろえて作ることになりました。恒例になったマジックショーもいつも通り行われました。例年より、参加率も高く、みんなとても楽しそうでした。ご家庭からは「子どもたちのイベントが中止になる中、やってもらって本当にありがとうございます。帰ってクリスマス会の様子を楽しそうに話してくれました。」というような内容のメールを何人かの方からいただきました。

先日、小6の生徒から聞いた話ですが、学校の音楽の時間、歌は心の中で唄うように指導されているようです。ところが、大きな声で唄った生徒がいて、先生は授業の途中で怒って出て行ったそうです。上からの指示を守らせなければならないので、大変なことだと思いますが、こんな時だからこそ、お互い笑い合って、楽しんで、免疫力を上げることが大事ではないでしょうか?併設の通信制サポート校の出来事ですが、5分ほど授業に遅れて来た、高1の男子が、私の目の前の席に座り、その後弁当箱を出して、ゆっくりと、美味しいように、笑みを浮かべながら食べ出したのです。私は想定外の行動に思わず笑いだしてしまいました。規則のない学校は怒ることもないで、お互い楽ちんです(笑)。

まだまだ、厳しい状況は続くと思いますが、コロナからの学びを楽しんでいきましょう!

# | エリア通信



**エリア東北 村戸公博  
(あおば伸学塾・青森県)**

2021年を迎てもう2月。早かったな、今年度も頑張ったよな…と、締め切り間近の原稿の前で物思いにふけっています。せっかくの執筆、時代に合わせて暗い話題では面白くないので、結果はどうあれいろいろやったという振り返りに、皆さんどうぞお付き合いください。

## ①ホームページのブラッシュアップ

私は毎年、「ミラサポ」という国の事業を利用しています。さまざまな分野の専門家の方たちに相談し、支援を受けられるというものです。私は毎年ホームページ制作の専門家に相談し、ホームページをブラッシュアップしてきました。今年度の大きな更新ポイントは「動画を入れる」でした。恥ずかしがりやな私には結構勇気がいることでしたが、ホームページのトップにドンっと自分の授業動画を載せることで、塾のイメージが伝わりやすくなつたかもしれません。ちょっとりうちしかったこととして、入塾に来た子になぜ当塾を選んだのか聞いたところ、「先生が優しそうだったから」ということがありました。結果、やってよかったです。(もう恥ずかしくありません)



## ②市営バス広告で知名度アップを狙う!?

新たな試みです。市営バス、しかも外面に大きな広告を出してみました。開校してまだ4年目ですのでまだまだ知名度は低いのが現状…。少しでも塾名を知ってもらえばと、当塾で扱っている速読講座をメインとした広告で出してみました(写真)。塾生たちは「見ました!見ました!」と言ってくるので、きっとちゃんと広告バスは走っているのでしょうかが、反響は…正直わかりません。でも前年より小学生が多いのはそういうことだろうと自分に言い聞かせて様子を見ています。(来年度は自分の授業写真の広告にしようかしら)



## ③趣味のカメラ撮影を活かして塾を知ってもらう

私はカメラの趣味があり、生徒のバスケの試合の応援によく撮影に行っています。(あくまで練習させてもらひに)す

ると中学生保護者から話が広まり、今まで小学校の練習試合にも顔を出すように。今まで保護者の方へのデータ受け渡しはSDカードでしたが、ミラサポの専門家の方に、塾のホームページに鍵付きでアップしては?というアドバイスをいただきました。そこで撮影後、塾のホームページのニュース(ブログ)ページに子供たちの写真をどっさりアップ。関係保護者の方のみにパスワードを伝え、閲覧しながら自由にダウンロードしてもらいます。そのようにしたところ、生徒保護者だけでなくそのチームの保護者の方たちみんなが塾のホームページを訪れてくれ、その結果当塾の存在を知ってもらうきっかけになったのではと思います。(将来の塾探しの選択肢のひとつになってくれたらラッキーだな、なんて考えたりもしています)

## ④塾オリジナルノートで生徒のやる気アップ

問題演習のやり方には、できるようになるやり方といつまでも進歩しないやり方ってありますよね。演習中のノートの使い方はある程度統一したい!そこで「あおばノート」を作りました。B5版40ページ、総コストは1冊40円というところでしょうか。普通の複合機(コピー機)で作ります。使い方と守るべきことを書いて、あとは生徒が指示に従って使うだけ。普通の経線に縦線3本だけの超シンプルノートですが生徒たちの反応は良く、問題を解くときにはしっかり使ってくれています。(2か月で3冊目に入る生徒も。)結果、生徒のモチベーションと正しい学習法習得につながったのかなと思います。



## ⑤おまけ・塾でハムスターを飼う

最後は『癒し』がテーマです。何を思い立ったか、ハムスターを飼い始めました。名前は「たろー」、ジャンガリアンのオスです。私を癒してくれる存在であるとともに、今や当塾のアイドルです。逆境の中でも塾長がしっかり働いて、たろーにお腹一杯ご飯を食べさせられるよう、今後も頑張っていきます!(私のいちばん好きなたろーのしぐさは、ゴロンと寝ているところです。)





**エリア関東代表 渡辺 浩  
(渡辺塾・東京都)**

私塾ネットの先生方、大変遅くなりましたが、新年おめでとうございます。昨年はコロナウィルス一色で、こんなにも生活が変わるかというぐらい日常生活が一変しました。この記事を書いている1月末は緊急事態宣言の下、東京都は依然1000名を超える陽性者が出ていて、一向に終息する気配がありません。そんな中、埼玉県や千葉県では私立中学校入試が慎重に行われ、都立高校も1月26日・27日に推薦試験が行われました。そこで今回は、このコロナ禍で行われた都立高校推薦入試の出題傾向を個人的な見解を交えながら書かせていただきたいと思います。

令和3年度入試はコロナウィルスの影響から集団討論が中止となり、ほぼどの都立高校も小論文・作文形式が選択されました。そのような背景もあり今年度の出題傾向は過去とは異なり、個人的には都立中高一貫校の入試問題を彷彿とさせるような問題だと感じました。自塾の生徒が受験した都立戸山高校と都立新宿高校の問題について感想を述べさせていただきます。

まず戸山高校ですが、大問1で『裁判員制度』に対してのデータ読み取り型穴埋め&レポート形式問題が出題されました。この形式は今年の大学入学共通テストの評論文の問題に近いように感じます。また大問2は理科系の問題で『音の波形』のデータをもとに、その操作や仕組みについて記述する問題と、この仕組みをどう役立てるかを記述する問題の計2問が出題されました（どちらも字数制限なし）。戸山高校の意向としては集団討論が取り止めになった分、役立てる系の問題をここに入れてきて、しかも例年ですと討論させていた事を今年は記述で書かせるようにしたと思われます。

また新宿高校の出題は同じく大問2題構成で、『企業による雇用のあり方の変化』をこれまた資料を添えて220字から240字で問題解決を論じさせる問題でした。いわゆる意見選択型の小論文形式問題です。テレワークの活用といった時事問題を絡めてくるあたりは新宿高校の特徴が良く出ていると思われます。さらに大問2は『食文化』についての理由説明問題と、選択したメニューから過程を論じる問題（150字から180字）が出題されました。「和食」を取り上げながら国際評価も取り入れたグローバル系問題にまとめ上げているのは新宿高校の特徴が良く出ていると思われます。余談ですが『食』についての論説文は平成29年度入試の国語の共通問題で出題されたことがあります。もしかしたら作問される方は『食べる』ことが好きなのかもしれません（笑）。

いずれにしても今年の問題は過去の問題とは異なりいわゆる「思考力」を問う新傾向問題に寄せてきたというのが感想です。今後このような新傾向問題が高校入試は勿論、中学入試大学入試で主流になってくるのは間違いないと思われます。そのためにも文部科学省が何度も唱えている『即興力』に注目していきたいと考えております。



**エリア中国代表 西本雅明  
(パワーゼミ西本・広島県)**

私塾ネット中国の1月定例会は、新年会を兼ねた少し贅沢な食事をしながらの会議です。しかし、今年はコロナ騒動もありZOOM会議となりました。パソコンを介した会議は慣れてきたものの最近では味気なさもしみじみと感じようになりました。新幹線に乗って朝から気合を入れて臨む通常の会議とは違い、気合が入らないこと甚だしい。出席者も会議を軽んずる傾向が見られ欠席も目立つようになってきました。新年度もこのような状況が続くようでは先が思いやられます。あくまでも冗談ですが、上半身はネクタイを付けているが下半身はパンツ一丁で会議に参加するなどの緊張感を保つ工夫が必要かと思われます。あくまでも冗談です。

さて、何もできなかった2020年度でしたが、私塾ネット中国ではWEB上で「映像授業」の研修会を開催する予定です。（公社）全国学習塾協会の地福常任理事からIT導入補助金のお話をいただき、塾専販社5社の一押し教材をプレゼンしていただくことになっています。どの程度の関心が会員の皆様にあるかどうかは未知数ですが、コロナ休業中の僕は安くて良い映像授業は無いかと思ったものでした。しかし「Go to travel」「Go to eat」で少し落ち着いたかに見えた時期になると、すっかり忘れてしまい、今頃慌てている次第です。どうやら今回のコロナ騒動は一過性のものではなく、これからも形を変え品を変えて、様々な形でパンデミックが起こる可能性があるようです。どんな状況下でも塾業が続けられるような準備をしておきたいと思います。

僕の塾では2月に行う公開模試も急きょ外部募集を停止しました。密を避けるためですが、もともと公開にしているのは塾生を増やすためであって、塾内を密にしたいのですので、複雑な気分です。広島県内の新型コロナに対する恐怖の度合いは地域差があり、新幹線沿いの市では高く、山間の地域ではかなり低いようです。実は今、島根県との県境に位置し広島県では最も奥の県立西城紫水高校で冬季合宿中に原稿を書いています。校内の合宿に外部講師を例年通りに招くなんて、呼ばれた僕も「大丈夫かいな」とびっくりしています。そのくらい暢気です。



**エリア四国代表 近藤 誠介  
(文化の森スクール・徳島県)**

**教育とは何かを、今、考える**

地質学上では、現在は1万1700年前からの「完新世」にあたる。しかし、この区分に対し、ノーベル化学賞を受賞したバウル・クルツエン博士は、産業革命以降の、人類が環境に大きく影響を及ぼし始めた時代を「人新世」と呼ぶことを提案する。特にこの30年間に発生した二酸化炭素が、その半分以上を占める。地球環境を大きく変化させ、その運命をも揺るがしかねないものにしているのが、正にこの時代である。そしてその責任は、我々大人にあるのは間違いない、グレタ・トゥンベリが声をあげるのも至極、当然のことである。

先日のバイデン大統領の就任演説でもあったのだが、民主主義は貴重で、また、もろいものである。世界の趨勢をみてみると、民主主義の危機と、みてとれないこともない。

こんな時代状況で、さて、「教育」とは、一体何なのである。と、大胆に書いてしまったものの、はたと困ってしまう。我々が生徒と向き合う時間は、ほんの一時に過ぎない。そして、その目的は、成績の向上だったり、入試の合格だったり、また、こちらの糊口をしのぐためだったりするかもしれない。ただ、それだけのことで、その子の人生に影響を及ぼせると思うのは、傲慢であろう。授業中にお説教じみて、人生を語るなどは、生徒に喜ばれる筈もない。反省…。しかし、人の出会いを考えると、お互いに意図せぬところで、影響を受けていることもある。表に顯れるのは、氷山の一角にしか過ぎないのだが、教育に携わる者…それも若い人との…として、氷山の水中の部分は大きくありたいと思う。

「教育」とは、子ども達を「より自由」にすることだろう。社会的、経済的、思想的、政治的、身体的etcに。「より自由」になるには、まず既成概念を疑ってみる。疑ってみて、それが自分にとって意味を持つものかどうか考えてみる。自分で考える、これが自由への第一歩。しかし、考えることを強要されて考えたとしても、それで、考えたといえるのだろうか。立場上、こちらとして言えることは、こちらも常に考え続ける、問うこと止めないという姿勢を続けるということだ。思考停止した人を見て、子どもは、思考しようと思うだろうか。教育のはしきれにいる者として、既成の上に胡坐をかいていることは許されまい。

と、偉そうに書いてみましたが、今の世の中、これからの人達のことを考えると、憂えざるをえない事態になっているようです。前述したように、気候変動は最大のファクターで、日本人は切迫感に欠けるようですが、誰にとっても逃れる術のないものです。それと切っても切れない、社会システム、資本

主義社会は、いつまで有効なのでしょうか。かといって、中国の成長至上主義の経済システムでやっていることはもっと非道いのですが。ピケティが指摘したように、経済格差は広がっており、AIはその格差の是正には、何ら寄与していません。民主主義のフラジャイルさを痛感するこのごろですが、民主主義に価値を置かない教育は、一体、どのようなものになるのでしょうか。

子ども達が自由であるためには、生存を脅かすような地球環境であってもらわなければ困ります。経済格差→教育格差となる社会をそのままに放置していいのでしょうか。

…等々、暇のあるコロナ禍のなかで、色々と考える契機となつた著作を紹介させていただきます。

・「地球上に住めなくなる日」デイビッド・ウォレス・ウェル  
「現代社会」の教科書に。

・「人新世の資本論」齊藤 幸平

「資本論」第一巻刊行以降のマルクスのエコロジー研究は、これからの時代を考える参考になります。

・「民主主義とは何か」宇野 重視

菅首相は「君主論」が愛読書らしいのですが、こちらの本を読んでいただけたら。ただ、この著者は、学術会議で拒否されたメンバーですが。

・「生まれてこないほうが良かったのか?」森岡 正博

「生まれてこなければよかった」という反出生主義を説明し、そして、その乗り越えを。「生まれてこなければよかった」は誰しも一度考えるのだが、「生まない方がよい」とは、この時代、非常に示唆的です。

・「コロナ後の教育へ」苅谷 剛産

「大学性悪説」からの演繹型思考による政策構想が生み出した大学入試の大混乱。日本の教育政策ってエビデンスに欠けますよね。ところで、共通テストの問題、英検とかなら分りますが、大学で必要な学力を問うものとしてはいかがなものでしょうか。全く、教養を感じられません。

・マルクス・ガブリエル数々の著作

子どもたちは、宇宙が無限かどうか、自分たちは自由かどうか、正義とは何かを、彼らは知りたがっています。彼らがこれらを知りたがっているのは、彼らが人間だからであり、人間は必要に応じて哲学を行うからです。

「欲望の時代を哲学するII」より



ご参考になれば、幸いです。

**告知！**



第18回 全国塾長・職員研修大会 1年のび太！

オンライン参加可！

# 日本のシステムを変える。 もちろん教育も。

2021年4月18日(日)14:00~17:40

現地にいらっしゃるのなら(ぜひ現地で!)

東京・大井町「きゅりあん」(品川区立総合区民会館)

東京都品川区東大井5-18-1 品川駅から電車で3分。大井町駅より徒歩1分。

ご近くでのご参加は、目の前のスマホ・仕事場のパソコンからZOOM参加!

久しぶりにお会いしましょう!!

Shijuku Net

昨年に続き今年も!オリンピックイヤー!そう!私塾ネット設立20周年記念大会です。3つの任意団体が一つとなった私塾ネットは、2001年(H13年)10月に品川プリンスホテルで産声を上げました。二十歳の成人式を迎える私塾ネット。20年を機に深化します。

私塾ネットの役割。それは教育に関わるすべての人のハブ(Hub)となることです。ハブ(Hub)=そこに繋がると他の人に繋がる。お互いの信頼関係の上に次から次へと人が繋がり、情報や元気がもらえる。相談できる相手が見つかる。人生の師に巡り会える。その手助けの場が私塾ネットです。利害関係が無く営業も絡まない任意団体「私塾ネット」。この20年間で培ってきたことは、人と人とを繋げる「ネット(網)」ではなく、繋がる役目をする「ハブ(Hub)」であること、そのことに我々は一昨年改めて気づかされました。

私塾ネット会員の重要な役割は、人と繋がること。繋がりが繋がりを産む。それが私塾ネットの醍醐味です。3つの任意団体からの歴史も含めれば、人と繋がることを60年も営々と続けてきたことになります。

## <1年のび太>

今回の20周年記念大会。人の動きが全く変わってしまったこの1年。世界の誰とでもZOOMですぐに繋がるなんて考えもしませんでした。今まで培ってきた人と人の繋がりとぬくもり。この繋がりをもっと深め、ぬくもりを感じるために本大会をどのようにすればよいのか…う

～む～…呻吟中です。私塾ネットらしい研修会。今回も「参加者全員が主役」を変えません。

小説『首都感染』『TSUNAMI』の作者、元塾経営者であり、全国学習塾協同組合理事の高嶋哲夫先生にご講話いただく20周年記念講演。戦後嘗々と築いてきたやり方ではなかなかうまく行かぬ事が見えてきた昨今。変わることに抵抗する心。絶えず変化せねば滅びゆく運命(さだめ)。不易流行。変えてはならぬものを明言できる日本人はどのくらいいらっしゃるのか?

混迷する世界で、日本が進む道筋を明らかにします。高嶋哲夫先生の「日本のシステムを変える」にご期待ください。

大会会場でもZOOMでも、小グループに分かれて意見を聞き合いましょう。思いを分かち合う場を作ります。移動が自由になった後、お会いできたときにはもっともっと聞き合いたいという仲間を作りたいです。そんなきっかけとなる20周年記念大会。分け隔て無く学び合います。

奇しくも翌日4月19日はシジュクの日。東京、大井町!もししくは液晶画面上に!必ず来てくださいね!お待ちしております!

研修部長 田中 宏道  
(LAPIS 鎌ヶ谷・千葉県)



## 当日のプログラム（プログラムは予定であり、変更になる場合があります）



### ①『20周年記念式典』(60分) 14:00～15:00

- オープニング 映像で贈る「私塾ネット20年」
  - 主催者挨拶：私塾ネットセンター理事長：仲野十和田（東京・埼玉：ナカジユク）
  - ご来賓祝辞（私学代表、学習塾代表、協賛企業代表）
  - 功労者へ感謝 長年のエリア代表、そして元エリア代表 全国から状況報告。「私の代表時代、そしてエリアの今」
- <休憩 20分>

### ②講演『日本のシステムを変える。～もちろん教育も～』講演者：高嶋 哲夫先生 (60分) 15:20～16:20

### ③深化。深める。深まる。(45分) 16:30～17:15

- セッション『どう思う？どうする？そして最近どう？』 ●会場でもZOOMでも6人1組になって、思いを聞き合いましょう。

### ④『ふりかえりと感謝』(25分) 17:15～17:40

- 私塾ネット各エリアなどから ●謝辞 私塾ネット会長：鈴木正之（東京：いぶき学院）

#### 講演者：高嶋 哲夫<プロフィール>

1949年7月7日、岡山県玉野市生まれ。小説家。兵庫県神戸市在住。岡山県立玉野高等学校、慶應義塾大学工学部卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了。

日本原子力研究所（現・日本原子力研究開発機構）研究員を経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校に留学。1981年に帰国後、学習塾を経営。1999年、『イントゥルーダー』で第16回サントリーミステリー大賞・読者賞をダブル受賞し、本格的に作家デビューする。2010年、『風をつかまえて』が第56回青少年読書感想文全国コンクール課題図書（高等学校の部）に選定された。同じく2010年に発表した『首都感染』が2020年の新型コロナウイルス感染症拡大を予言しているとして話題となった。2017年に『福島第二原発の奇跡』でエネルギーフォーラム賞優秀賞を、2020年に第1回「日本応用地質学会表彰」を受けた。日本推理作家協会、日本文芸家協会、日本文芸家クラブの会員。全国学習塾協同組合副理事長。



#### <高嶋氏のメッセージの1つ>

『首都感染』の作者です。タブン、政府や専門家のエライ先生はすでに考えて、却下したのだと思うけど。

#### 「コロナ・ワクチン接種に向けて」

- 「ワクチン接種」は東京、首都圏から地方へ。
- 現在、感染を広めていると思われる都会の20代～30代の若者を中心に。そして高齢者。
- 数百人の医師、看護師の「ワクチン接種医療グループ」を作る。
- 接種手順のノウハウを得ながら、東京を中心に首都圏で数日でやり遂げる。
- 東京が済んだら、その医療グループが「大阪」「名古屋」「福岡」と大都市を回る。
- 最初のワクチン量（3600万人）で十分足りる。3割程度で集団免疫が期待できる。

#### 「今のやり方だと、大混乱が起こる」

- 高齢者のワクチン接種は大変。施設に入ったり、一人で動けなかつたりの人も多い。認知症の人もいる。
- ワクチンの温度管理が大変なので、無駄にするワクチンが大量に出る。外国で多発。
- 県によっては感染者は1桁～2桁。ワクチン接種をする必要あるのか。

これ、個人的な意見だけど。多分正しい。言葉足らずかもしれないけど。間違ってなければ、また詳しく書きます。間違ってたら、ごめんの1万乗。

#### <高嶋氏の主な著書>

「イントゥルーダー」「都庁爆破！」「ミッドナイト・イーグル」等他多数。  
※上記3作品はテレビドラマ化

#### 最新刊▶「首都感染」後の日本

東京一極集中、IT後進性、危機管理力……コロナが示した「日本の弱点」と必ずやって来る「東京直下型地震」のすさまじき破壊力。これは「予言」ではない。首都を襲う自然災害は必ずやってくる——  
 ●コロナに振り回され続ける日本人●『首都感染』を書いた理由と動機  
 ●コロナと自然災害の類似点と相違点●「現実を受け入れる力」が試される●一極集中型のリスクと「道州制」●東京直下型地震の確率と被害予測

#### <お問い合わせ・お申し込み>

**申し込み締め切り日：4月12日(月)**

WEBサイトから  
カンタン参加申し込み！▶

[form.shijuku.net](http://form.shijuku.net)

事務局：長江広紀

神奈川県川崎市中原区

新城 5-9-25(英数学院内)

TEL: 090-6548-4349

E-mail: [center-office@shijuku.net](mailto:center-office@shijuku.net)





# エリア報告 北から南まで

## 報告

櫻井 美穂（富士進学スクール・埼玉県）

### 父の遺志と塾舎を継いで、2代目塾長の決意



父・立脇堯



『菅総理には菅官房長官が必要だ』という話がある。もう4年も前から私が使っているフレーズだ。『私にはもう一人櫻井が必要だ』。それは私がとても有能だという事ではない。2017年に亡くなった父・立脇堯と私の他愛もない話だ。

私は三人姉妹の三女として生まれた。父は男の子を望んでいて「勇太」という名前まで決めていたとのこと。女の子なので名前はどうしようと母が尋ねると、「勇士」でいいよと父。さすがにそれは可哀想と、母に女の子らしい名前をつけてもらつたが、父の思い通り勇ましい子に私は育つた。なので、恐れることなく父にも真っ向勝負で挑んだ。反抗期と呼ばれる年頃はもちろんのこと、富士進学スクールで仕事をする大人になってからも、おかしいと思ったことは意見した。仕事上の討論のはずなのに、親子喧嘩に発展して怒鳴り合いになるさまは、今でも笑い話にされている。父との喧嘩で、私は2回仕事を辞めている。事務仕事が苦手な父が困り果てていたり、先生方から戻つて欲しいと言って頂けたりで、復職するのだがまた何年かすると同じ事を繰り返す。社員の先生方からしたら迷惑な話だ。しかし父の病を知り、戻ることを決めた時の父の嬉しそうな顔を私はずっと忘れない。

喧嘩にならない為には、先生方の仕事を潤滑にすること。怒りの元となる報告の仕方を変えること。などなど、塾長と先生方の調整役になることに務めた。何年か過ぎた頃に父が言った。「美穂が戻ってきてくれて本当によかった。色々な事を一人で考えるのが70%くらい放っておいてもよくなつた。一ぱって明るい気持ちになるよ」。この3年後くらいに父は亡くなるのだが、塾を継いでいくという決意ができたのは、この時のこの言葉があったからだと思う。だが、当初はすぐに後悔した。立場が変われば伝えたいことも変わってくる。最終決定も自分だ。調整役では仕事にならない。どうか、父が言っていたのはこういうことなのか。『私にはもう一人櫻井が必要だ』。ずっと思ってきたが、それは無理なので私なりに奮闘しているところだ。そしてもし、もう一人の櫻井が実現できるとしたら、勇ましい人ではなく、穏やかでしなやかな人を希望しようと思う。

## 報告

顧問 高橋 豊明（ステップ・神奈川県）

この原稿を書いているのは1月28日(木)。緊急事態宣言の最中です。

現在、猛威を奮っているコロナですが、今年に入り、とうとう弊社の職員（教師）の中にもコロナの陽性者がいました。それまでは、「生徒の通う学校で感染者が出た」とか、「生徒の家族に陽性者が発生した」という内容が中心で、該当生徒のみ、「陰性が判明するまでは授業をZoomで参加してください。対面授業はしばらくお休みください」ということで済んでいました。しかし、陽性者が弊社の教師の場合は話が別です。もちろん、全教師ともマスクをして授業をしていますし、教室内はドアや窓を開け、換気が出来るようにしていますが、多くの生徒の前に立つ教師の場合は、「その教師だけをお休みに…」で話は終わりません。そこで、今回弊社が取った対応を参考までにお知らせいたします。

### ▶速やかな情報の開示と素早い自主的対応が肝心

①陽性判明後、該当スクールのその日の授業はすべて休講としました。そして、すぐに生徒・保護者に向けて、メールにてその理由と経過をお知らせしました。とにかく判明してから時間を置かないことを心懸けました。保護者の方には、教師の中に陽性者が出来たことを告げ、当日と翌日の授業はお休みする旨をお知らせしました。ありがたいことに批判的な反応は皆無で、むしろこちらを気遣いいただくお言葉を多くいただきました。

②すぐに専門業者に依頼し、翌日の午前中に教室内を徹底的に消毒しました。

③感染防止のため、1月いっぱい、受験学年（中3生と若干の小6生）以外はZoomでの授業に切り替え、受験学年は「対面授業」を継続しつつ、希望者はZoomで参加できる態勢を準備し、時間割の変更等を速やかにお知らせいたしました。（結局、受験学年でZoomを希望されたのは各クラス若干名でした。）

④陽性になった教師はいつもマスクを着けており、職員室内で食事をとることもなかったので、通常は「濃厚接触者なし」という判断になるはずです。しかし、その判断をいただこうと保健所と連絡を取ろうとしても、土日祝日を挟んだこともありなかなか連絡が取れません。

⑤陽性となった者から聞いた専用（？）の電話番号でやっと保健所とつながったものの、陽性者の居住地

と教室所在地の管轄保健所が異なっていたため、「お答えする権限がない」との回答でした。すぐに教室所在地の保健所に連絡を取りましたが、「今は手一杯でそちらに連絡できるのはいつになるか分からない」とのこと。このまま保健所の判断を待っていると、いつ教室を再開できるか分かりません。(実際、保健所から連絡をいただいたのはそれから3日後でした。)

⑥陽性者の出た教室のスタッフ6名は無症状でしたが、このまま授業をさせるのは危険です。そこで、保健所の判断を待たずにPCR検査を受けさせることにしましたが、街中の病院はほぼ検査の予約がいっぱい、結果が出るのは早くとも数日先とのことです。そこで、PCR検査を即日実施してくれる業者を探し出し、東京でスタッフ全員に検査を受けさせました。現在はいつでも自社で検査できるよう、検査キットを数十セット取り寄せています。

⑦検査を実施した日の夕方、結果がメールで送られてきました。全員陰性で事なきを得ました。



今回の「教師の陽性判明」ではいくつか気を付けたことがあります。一つは生徒・保護者に現状を隠さず、速やかにお知らせするということです。情報を可能な限り開示することで、生徒・保護者の不安は小さくなります。今回の場合、ほとんどの保護者の方が応援してくださいました。

そして、「保健所の対応を待たない」というのも気を付けたい点です。報道にもあるように保健所は忙しすぎて機能麻痺寸前のように。濃厚接触者の有無の判断や指導を待つてるとどんどん時間が経過し、対応が後手に回ります。PCR検査を自主的に受けて、陰性の証明をいただくのが早いと思います。素早く対応すれば次の日には陽性か陰性かは判明します。とにかく素早く動くことが肝心だと思った次第です。

## ▶緊急事態宣言下でのオンラインライブ授業

弊社のその他の教室では、今回の緊急事態宣言下で、従来の対面でのライブ授業を継続しながら、同時にZoomを使って

その授業の「実況中継」(オンラインライブ配信)を行っています。各クラス若干名の生徒が感染防止のためであったり、体調不良であったり、濃厚接触が疑われる状態で外出できなかつたり等の事情でこの実況中継に参加しています。この授業の中継はカメラ付きのノートパソコンかwebカメラを使って黒板全体を映し出すことができるよう設定すれば、あとは対面で参加している生徒たちに授業をするだけですからそれほど負担にならないのが長所です。Zoomで参加している生徒のノートチェック等で若干行き届かない点もありますが、全般にはスムーズに進められています。

参加状況を見てみると、中3の受験生はほとんどが対面授業を選んでいます。実力をつけて鍛えるという観点からすると、子どもたちにとっては教室での対面授業が魅力だということがよく伝わってきます。現在、ステップでは中3生対象に「日曜講習」を行っていますが、この講習は午前9時から18時半までの長丁場で、Zoomで参加する生徒もいます。前半のテストと後半の解説で1日がかりの講習ですが、Zoom参加の生徒にも自宅でまったく同じ時間にテストと解説授業に参加してもらい、答案を回収し、模試の処理も対面参加組と同様に実施しています。なお、リスニングは音声が飛んだりしないように十分に気を付けて行うことが必要です。このZoomを使った実況中継は一度機器を設定てしまえば、あとは比較的容易に行うことができるのでメリットが大きいと思います。

## ▶混乱の中から生まれた財産 対面とオンライン・ハイブリッド授業の手ごたえ

現在はこのような形で進めていますが、昨年4月の緊急事態宣言の当初はもっと混乱のスタートでした。3月に2週間、学校で一斉休校の時期がありましたが、そのときは自塾のオンライン配信動画を使いました。ステップでは e-STEP という塾生専用の動画配信サイトを十数年に渡って運用しており、5教科でおよそ 3000 本の動画があります。その中から、この時期に見ると良いオススメの動画をピックアップし、休校中の生徒にぜひ見るよう促すのが常套手段ですが、視聴率はなかなか上がりませんでした。その反省を踏まえ、4月の緊急事態宣言の発令が決まった段階で、「各教師が自分の担当する生徒向けに、それぞれクラス単位で動画を配信する」という大方針を決めました。皆が意気込んで1日に2本~3本の動画を準備して一斉に撮影、配信を始めました。ところが慣れない作業で色々とトラブルが生じます。中学部の約 500 人の教師が1日に4本ずつ動画を配信すると1日で 2000 本、2日で 4000 本と積み重なっていきます。その動画は本来圧縮して 100MB 以下に抑えるのが定石ですが、何しろ慣れていないものですから 200MB、300MB の動画を、そのままアップする教師も出てきます(笑)。そうするとサーバーのオーバーフローが起き始めました。サーバーがストップしている間も 100 を超える教室の教師たちが次々に動画を上げていきます。私たちが使っているクラウド業者の担当の方も必死でサーバーの容量を拡大し、




ステップのZoom授業風景



「これなら大丈夫だろう」という量まで拡張してくださるのですが、動画の数が拡張したサーバーをさらに上回り、さらにパンクが起こります。こうして初めの1週間くらいは混乱の中で動画を作り続ける日々でした。GWを挟み、土日を除いて1日2000本程度の動画を積み上げていったので、緊急事態宣言が解除される前にカウントしたところ、トータルで約54,000本の動画を配信していました。1本の長さはできるだけ15分以内に抑えるようにしたほうが視聴率が上がると言うこともわかつてきただので、最終的にはほぼ10分から15分程度の動画にし、長くなりそうな場合は分割してアップするようにします。一般的な動画配信と違ってふだん教えていたる教師が担当している生徒に向けた動画となると、視聴率は飛躍的に上がります。視聴数も伸び、クラウドの担当者の方からは、「パリーグの野球中継よりも視聴者が多い」との感想も聞けたりしました。

動画配信を初めて2週間くらいした頃、動画を配信するだけでなく、Zoomを使って「ホームルーム(HR)」をしようという動きが活発になります。生徒や保護者とのコミュニケーションの中で、「家庭にこもった生活でメリハリがなくなっている」という不安を多くお聞きしたからです。そこでクラスによって午前10時、午前11時、午後1時と時間を決めてHRを始めたところ、これが非常に好評でした。「生活にメリハリがつく」「Zoomの中で友人とコミュニケーションが取れる」「先生の励ましの声が力づけてくれる」等。ZoomでのHRの際は保護者の方も生徒さんの横で一緒に参加される姿も見られます。そうなると次の段階では「Zoomを使って授業をするのも有力な手段ではないか」ということで、4月下旬からはZoomを使った授業を試行的に開始しました。そうするとこれがまた好評で、あっという間に全校舎的にZoomを使ったライブ授業が広がっていきます。このZoom授業では、生徒の顔を見ながら「○○君、これは大丈夫かい?」「○○さん、ここはどうなる?」と会話型で授業を進めることができます。この双方向の授業の場合は、時間が30分、40分となつても生徒は飽きずに積極的に参加します。こうして5月になると「動画配信」「ZoomHR」

「Zoomによる実況中継」の3本柱でオンライン授業を進めました。そして5月中旬になると「Zoomを使った模試もいいのではないか」という案が出て早速やってみたところ、これもなかなか好評でした。Zoomを使ってリスニングを流し、Zoomで手元を映してもらい、一斉に試験を解きます。そして答案はメールかFaxで回収します。そうするとクラス単位でも学年単位でも比較的スムーズに模試の運営ができることも分かってきました。こうして全般に軌道に乗った頃、5月末に緊急事態宣言が解除され、6月に対面授業の再開を迎えたわけです。

この2ヶ月間、いろいろ手探りの中でオンライン授業のノウハウを積み上げていったことは私たちの大きな財産になっています。また、ステップが始まって以来というくらいいの保護者の感謝や激励の声をいただくことができたのも大きな励みになりました。このときの蓄積があったからこそ、2回目の緊急事態宣言下でのスムーズな対応ができたと思っています。これからは対面授業を柱としつつも、オンラインとのハイブリッドの運営について工夫を重ねていきたいと思っています。

## 報告

## 福士 明美（ふくし英数教室・青森県）

## Have you ever been to Kagoshima?

私塾ネット会員塾の皆さん、大変ご無沙汰しております。青森・ふくし英数教室の福士でございます。昨年は皆さんにお会いする機会がないまま新年を迎えることとなりました。

コロナウィルスの感染拡大がなかなか収まらず、ここ青森でも近くの小学校・中学校でひとクラスずつ学級閉鎖が行われておりましたし、





高校の部活クラスターも発生しております。緊急事態宣言が出されている地域の皆さまのご苦労は如何ばかりかと遠く青森の地から案じております。このような状況下で大変恐縮ではございますが、私のお気楽な近況報告をさせていただきます。

昨年の6月卒塾生の結婚式に主席する予定でしたが、残念ながら東京での結婚式はキャンセルとなりました。その後親族の皆さまだけの結婚式を鹿児島で行うとのことで、10月末招待客は私と主人のみというとても心温まる結婚式に参列させていただきました。

新婦は中学・高校と当教室に在籍し、受験期は塾に毎日通つてくるような頑張り屋さんでした。青森高校から県立保健大学看護科に合格しホッとしていたところ、ダメもとで受験した防衛医大の看護科からも合格の連絡が入りました。お姉さまが早稲田を卒業され東京でバリバリお仕事をされていたので、ご両親は彼女が青森に残ることを望んでいらっしゃいました。ちょうどその頃ペースメーカーを使用することになったお父さまが、看護の道を選ばれたお嬢さまをなおさらとも心強く思っていたのをよく覚えております。数日後お母さまから「これから娘と塾に行って、先生に相談したいのですが…」とお電話をいただきました。神妙な面持ちの彼女を見て、「両親には言い出せないけれど、防衛医大の看護科に行きたい!」ということだとすぐわかりました。自宅で黙り込んでしまった娘の本心を知りたかったのでしょう。「自分の人生だから自分で決めていいんだよ。今もこれからも… 私たち大人はずっとあなたの応援団なんだから…」と伝えました。そんな訳で彼女は防衛医大の看護科に進学し、そこで生涯の伴侶となる医学生と出会うこととなったのでございます。ベベベンそうなんです!私が二人の恋のキューピッドということで、今回の鹿児島行きが決まった次第でございます!

なかには「こんな時期に先生はなんで県外に行かれるの?」と塾のお休みに難色を示された保護者の方もいらっしゃいましたが、昨年の9月で還暦を迎えたこともありリフレッシュ休暇も兼ねて思い切って出かけて参りました。4泊5日の鹿児島・大分・福岡の旅になりました。もちろん帰宅後2週間は塾をお休みし、念のためPCR検査も受けました。

当日は好天に恵まれ、桜島に見守られての結婚式が始まりました。私は声高らかに讃美歌を歌い、披露宴のフランス料理に舌鼓をうち、ご出席の皆さまと歓談し、終始嬉しそうにニコニコしている新郎新婦から幸せのお裾分けを頂戴すべく多くの記念写真に納まりました。

お父さまがしみじみと

「鹿児島に親戚ができるとはなあ。先生が背中を押してくれたから、このご縁が結ばれたんだよ。」とおっしゃってくださいました。特別な演出のない落



ち着いた披露宴は、ご両家の温かさがより強く感じられる笑いあり涙ありのとても心に響くものでした。引き出物にいただいた薩摩切子の一輪挿しの花瓶の美しさに感動し、ご招待いただけたことを主人ともども心から光栄に思っております。

次の日はレンタカーで大分に移動しました。せっかくの機会ですから、別府市にある立命館アジア太平洋大学に立ち寄らせていただきました。いつもお世話になっている立命館大学の入試広報課に問い合わせたところ、課長さんの同期の方がアジア太平洋大学のアドミッションオフィスにいらっしゃるとのこと、状況を確認していただき大学見学の許可をいただくことができました。

開学から20年を経たAPUは国内NO.1のグローバル大学といわれており、在籍生6,000人の半分が約90カ国・地域から日本にやってきた留学生です。国際学生と日英2言語環境で暮らし、学修する中で日本人学生も自然に語学力と積極性・多文化理解力が身につく大学です。キャンパス内に1,310室の寮・APハウスがあるのも、母親目線でチェックしてまいりましたが、なにより安心ですしポイントが高い点です。こちらの寮は24時間職員の方が対応してくださるそうで、急な病気の時などは本当に助かります。

これまで青森県からは約20人の学生さんが入学しており、現在は八戸の聖ウルスラ学院高校から入学された学生さんが頑張っておられるそうです。大学職員の方が【天空のキャンパス】と呼んでいらっしゃいましたが、小高い山の上にある大学でした。



その日のうちに太宰府天満宮にお参りをし、生徒たちにお守りと鉛筆のお土産を買いました。もちろん参道で名物の梅が枝餅もいただきました。

鹿児島では黒豚・黒牛のしゃぶしゃぶ、大分では別府温泉と海の幸、福岡では水炊きを楽しんで帰宅いたしました。コロナが終息したら、四国・九州をぐるっと一周したいと思っておりますので、その節は四国・九州の先生方どうぞよろしくお願ひいたします。

# 2021年 教科書改訂 ポイントはここだ!

提供:教育開発出版株式会社 東京2課 鈴木 庸純

新学年度教材の採用の時期となった。今年は中学教科書改訂のタイミングとあって、テキスト選びに慎重になられているのではないだろうか。私塾ネットの賛助会員でもある教育開発出版さんに、改訂のポイントをまとめていただいた。採択の参考としてください。(編集部)

## 英語

### ①語彙

学習指導要領では、小学で六〇〇～七〇〇語、中学で一六〇〇～一八〇〇語程度を扱い、従来の2倍になる。ただ、すべてを発信語彙とする必要はない。

### ②文法

小学校では、基本的な文構造のほか、文法的に見ると助動詞や不定詞、動名詞といった内容まで出てきた。ただ、多くの中学教科書ではこれを習得済みとして扱わず、文法的な観点から改めて学習する。なお、高校から下りてきた文法項目としては、仮定法・現在完了進行形・原形不定詞などがある。

### ③リーディング

長い文章を素早く処理することが求められる。具体的な手法として、文の概要をつかむ「スキミング」、広告やメールなどの短い文から情報を照会する「スキャニング」というスキルが提示されている。

### ④リスニング

音声のみで本文を把握することが当然のように行われる。

### ⑤スピーキング

道案内や買い物などのテーマで、特設コーナーで扱われるほか、随所に「本文で出てきた表現を、自分なりに言い換える」というタスクが与えられる。「ペアワーク」「発表」のウェイトも大きくなった。

### ⑥ライティング

スピーキングと同じく実用の側面が強くなった。どの教科書も手紙やメールから始まり、レポート作成にまで耐えうる表現力を、3年間で段階的に養成する。



4、「反例」が高校から2年。

5、「四分位数・四分位範囲」「箱ひげ図」が高校→2年。

6、「誤差や近似値」「有効数字」が1年→3年。

### ②現実世界での活用

数学を現実世界でどう活用するのかが、より分かりやすく示された。端的にいえば「数学って何の役に立つの?」という疑問に、より丁寧に答える内容になった。具体例として、導入部が実際の現象を題材としていることが挙げられる。これは従来も行われていたが、単元によっては割くページが増えた。また、“コラム”的な増加傾向も挙げられる。“コラム”とは、「雷の発生地までの距離を音速との関数で求める」、「短い時間で測れる体温計は関数を利用している」など、現実世界での活用を紹介するコーナーである。

## 国語

### ①キーワードは「根拠」

中1・2では根拠を明確にすることが、中3では根拠をふまえて「多様な考えを想定し、合意形成する」「多様な読み手を説得させる」「批判的に見て、考える」ことが求められる。教室現場でどこまで厳密な指導ができるかという課題はあるが、グループワークや発表でも相手を納得させる技量が求められる。

### ②「意見」と「事実」を区別する指導が大切に

教科書会社によって表現はさまざまだが、「意見と事実の区別」「原因と結果の整理」「比較」「分類」「類推」などのスキルが改めて重視されている。特に「意見と事実の区別」は重要になる。



## 数学

### ①主な単元移動

- 「素因数分解」が3年→1年。
- 「累積度数」が高校から1年。
- 「統計的確率」が2年→1年。



## 理科

### ①主な単元移動

- 物理
  - ・「光の色」が新規(1年)
  - ・「2力のつり合い」が3年→1年に



- ・「水圧・浮力」が1年→3年に
  - ・「圧力・大気圧」は1年→2年、地学扱いに
  - ・「放射線の性質と利用」の一部が3年→2年
- 化学
- ・「プラスチックの性質」が1年→3年
  - ・ダニエル電池と金属のイオンへのなりやすさが高校→3年

○生物

- ・「生物の特徴と分類」が新規（1年）
- ・「動物の体の共通点・相違点」が2年→1年
- ・「葉・茎・根のつくりと働き」が1年→2年
- ・「生物の多様性と進化」が2年→3年

○地学

- ・「自然の恵みと災害」が3年生から各学年へ  
→1年生に「自然の恵みと火山災害・地震災害」  
→2年生に「自然の恵みと気象災害」

**②理科は改訂の方向性が数学と似ており、各単元の導入部が充実した。**

- ・目的（あるいは課題、疑問）の設定
- ・方法（実験や観察）の確認
- ・結果の確認
- ・結果の考察

以上の4つが、わかりやすく構造化された。また、仮説や推測をイラスト付きで掲載するなど、丁寧になった。また、「なぜ」「どのように」を自分で考えるとともに、他者の意見にも耳を傾けることを促している。「主体的・対話的な学び」が反映されている。

## 社会

**①新学習指導要領のポイント**

○地理

「日本の地域構成（時差を含む）」が冒頭に戻った。前回の学習指導要領では、前半の世界地理では日本の地域構成は扱わず、後半の日本地理で扱っていた。

○歴史

世界史、日本の領土画定や、現行の政治体制が確立するまでの歴史を詳しく扱うこととした。

○公民

「日本の領域」「政治参加」の内容の充実化がなされた。また、人工知能や起業など、今日的なテーマを扱うよう定められた。

**②教科書は記述力や資料読解力を求める誌面に**

各トピックが見開きで完結し、その冒頭に学習の課題・テーマなどが示され、それに呼応する形で“確認問題”が見開き末尾に配置されている。内容は、基礎事項の確認にとどまらず、むしろ思考力・表現力・判断力を伴う言語活動を行うものとなっている。地図や統計資料の読解も積極的に促されている。

# 理事長より ワリコミ通知

経済産業省より以下の調査についての依頼が来ております。会員塾の皆様にはご協力をお願ひいたします。

理事長 仲野十和田

## 経済産業省からのお知らせ

### 特定サービス産業実態調査の実施について（お願い）

経済産業省大臣官房調査統計グループ長

平素より、経済産業省が実施しております各種統計調査の実施に当たりましては、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当省では、特定サービス産業の売上高等の経営動向を把握し、景気動向の判断材料に資するとともに、産業振興施策、中小企業政策の推進及びサービス産業の健全な育成のための基礎資料を得ることを目的として、「特定サービス産業動態統計調査」を毎月実施しており、その結果は、GDP統計や第3次産業活動指数などの経済指標の基礎データ等広く活用されているところです。

また、「平成28年経済センサス活動調査」の結果によると、我が国の全産業におけるサービス業を含めた第3次産業の割合は売上高で約7割、従業者数で約8割を占めるまでに至っており、サービス産業の動向の的確な把握はますます重要になってきております。

つきましては、本調査の重要性について御理解いただき、引き続き2021年1月分以降の調査につきまして、貴傘下会員各位の御協力を賜りますよう、会報、会合等において御周知、御指導いただきたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、本調査は、統計法に基づく一般統計調査として実施され、記入された調査票の内容についての秘密は厳重に保護されております。

# 日本民間教育大賞授与される

私塾ネット会員、玉城邦夫先生、柳田晋治先生が同時受賞

(登壇された受賞者の皆さん、右から3番目が玉城邦夫さん、右端が柳田晋治さん)



## 報告

### 谷村 志厚 (AIM 学習セミナー・千葉県)

令和2年7月13日(月)、東京神田の学士会館で表彰式が執り行われた。本来は3月に実施される予定であったのだが、コロナ感染の影響で延び延びになっていたのである。7月中旬のこの日、おりから東京は連日200名以上のコロナ感染者が出ていた。会場は三密を避ける配慮から、定数の3分の1程度の70名に入場が制限されていた。出席者は全員がマスク着用でソーシャルディスタンス、学士会館の莊厳な会議室には、少々違和感のある風景でもあった。

授賞式に先立ち、記念講演会があった。講演者は業界の初上場塾である学究社(創業時国立学院-現ena)の川端真一社長、テーマは「この先10年の学習塾業界を考える」。氏は自社のコロナ対策とオンライン授業の取り組みの紹介を皮切りに、コロナ騒動が業界に及ぼす影響を語った。業界への影響の実態は、上場塾の四半期決算が公表される8月に明白になろうとし、自社は昨年とさほど変わらぬ実績であると述べた。その後自塾の経営理念を熱く語られた。10年後の業界は、競争状態下で寡占化が進み中小が淘汰されるとしながらも、2年前のスプリックス(森塾)の上場の例を挙げ、まだまだ業界にはやり用によっては展開の余地があると語られた。

3時30分、壇上に5名の受賞者の皆さんが並ばれた。左から青木辰二、立木貞昭、玉城邦夫、西村道子(代理人)、柳田晋次の各氏。

このうち、最高功労賞を受賞された玉城、柳田の両氏が私塾ネット会員であることを誇りに思う。ことに筆者はこのお二人とはまことに縁が深い。ともに千葉学習塾

協同組合の揺籃期の同志である。玉城氏が同組合の第2代理事長、続く3代目が小生そして柳田氏が4代目と続く系譜である。

主催者から賞状と盾が贈られ、受賞者はそれぞれの思いをスピーチされた。玉城氏は30余年に及ぶ塾団体活動を振りかえりつつ、塾の現役講師としての生きがいを語り、白寿まで教壇に立つ決意を宣言された。柳田氏は延2000名の海外留学派遣の実績とコロナ禍での現状の無念さを吐露された。そして「後継者の息子(靖浩さん)と受賞の感激を共有できたのは、この上のない喜びだ」と締めくくられた。

午後4時30分、祝賀会に席を移した。ここでも時節柄三密を避けるためブッフェパーティー形式を避け、人数を限定した着席形式の宴席が用意されていた。祝賀会は必要最小限に簡素化されたが、心のこもった落ち着いた祝宴となつた。



柳田晋治さん(日米文化学院) ▼

玉城邦夫さん(修学舎) ▲



| 私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 長江 広紀(英数学院・神奈川)



この度センター事務局長の大任を拝しました長江広紀です。私塾ネットの発展のため精一杯頑張りますので、何卒宜しくお願ひいたします。簡単な自己紹介をさせてください。神奈川県川崎市で生まれ、育ちました。9年前、父勝秋が病で倒れ、急遽塾長の立場になりました。

右も左も分からぬまま、父がやっていた通り何とかこなしていましたが、父の存在は大きく、生徒はどんどん辞めていきました(その多くが父の教え子でした)。

八方塞がりの中、私塾ネットの会に参加する機会があり、父を真似ようとばかり焦っていましたが、自分のカラーを出していけばいいのだと割り切ることができました（父は永遠に超えられません）。また同じジュニアということで、渡辺浩先生（人間教育

渡辺塾) や柳田浩靖先生(日米文化学院)などにご指導を賜り、宮澤歩先生(秀英ゼミナール SS 教室) や丸橋俊行先生(丸橋塾) など同世代の先生方から刺激を受けてきました。現在では、事務局長の他に、センターでエリア活動推進部長、エリア関東で総務部長、広報部長をさせて頂いております。

先日、青葉学院の中村明雄先生からお電話を頂きました。その時、「私塾ネットの活動も自己犠牲で頑張って偉いね」と言われました。実は僕は自分を犠牲にしていると思ったことはなく、単に楽しくてやっています。私塾ネットの活動が好きなのだと思います。自塾のほうはこのコロナ禍で塾を閉めようと思ったことも1度や2度ではありません。もちろん、自塾第一です。ただ前述した通り、私塾ネットにはご恩があり、私塾ネットの活動がなければ今の自分ではなく、自塾もないと思っています。

若輩者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しく  
お願い致します。

# 閑話休題 編集後記

編集長 谷村 志厚

今号のエリア報告では、東北の福士さん村戸さん、関東の櫻井さん高橋さんにご寄稿いただいた。福士さんは教え子の結婚式で九州まで足を伸ばされた遠征記、村戸さんは自塾のPRに努力されている奮闘記、町の学習塾の公私の両面を描いていて読みごたえがあった。櫻井さんは亡父の遺志を継ぐ決意の一文。お父さんの立脇堯さんは旧PTFの先輩、塾舎の新築披露にお邪魔した四半世紀前の出来事が昨日のことのようだ。高橋さんには別テーマの寄稿をお願い

していた。某セミナーを相手取っての「鬼滅」話だ。諸事情あって目先を変えコロナ相手のお話となり、4000字を越える大作となつた。さすが天下のステップさん、やることが違いますね、規模は違えど参考になる点多々であった◆少々旧聞になる話題だが民間教育大賞をレポートした。受賞者の玉城邦夫氏、柳田晋治氏ともに私塾ネット関東のメンバーだ。玉城氏は現職のAJC副理事長、柳田氏は私塾ネットでも大活躍の日米文化学院の柳田浩靖さんの岳父だ。小生とは、千葉学習塾協同組合で20年来の同志だったので、いっそう感慨深い。

# ちぎり絵歳時記⑯(絵馬・干支の丑)

作画・中村光江

「コロナ下の令和2年、どれほど多くの明けて令和3年の干支は丑、はからずも小生の干支である。ちょうど干支を6まわりしたことになる。あと一まわり、12年後に果たしてこの世にいるかは少々心もとない。なにしろ昨年は兄と姉を亡くし、五人兄弟が次兄と自分の二人になつた。死が身近にあることを痛感している。

姉が亡くなつたのは11月25日だが、小生の誕生日である11月11日に合わせて、姉から贈物が届いた。中身は木目込み細工の額絵だった。故郷の愛媛では宇和島の闘牛が有名で、ここに横綱牛をモチーフとした手作りの作品であつた。丑年の弟を思つてのものであろう。8月から入院加療中であることは知つていたので、この贈物を手にとつたとき、これはもしや? と一抹の思いがよぎつた。そして2週間後姉は逝つた。そして今、牛の額絵は遺品として自室を飾つている。(志)



## コロナ下に息災祈る年始（直人）とはじめ

## 賛助会員一覧（順不同）

### 関東国際高等学校

東京都渋谷区本町3-2-2

### 東洋高等学校

東京都千代田区三崎町1-4-16

### 桜丘中学・高等学校

東京都北区滝野川1-51-12

### 聖徳大学附属女子中高等学校

千葉県松戸市秋山600

### 麹町学園女子中高等学校

東京都千代田区麹町3-8

### 春日部共栄中学高等学校

埼玉県春日部市上大増新田213

### 東京立正中学高等学校

東京都杉並区堀ノ内2-41-15

### 八雲学園中学高等学校

東京都目黒区八雲2-14-1

### 武蔵野中学高等学校

東京都北区西ヶ原4-56-20

### 東洋大付属京北学園

東京都文京区白山2-36-5

### 大森学園高等学校

東京都大田区大森西3-2-12

### 東京成徳大学中学高等学校

東京都北区豊島8-26-9

### 日本工業大学駒場中学高等学校

東京都目黒区駒場1-35-32

### 青稜中学高等学校

東京都品川区二葉1-6-6

### 東京女子学園中学高等学校

東京都港区芝4-1-30

### 駒込学園中学高等学校

東京都文京区千駄木5-6-25

### 愛国中学高等学校

東京都江戸川区西小岩5-7-1

### 安田学園中・高等学校

東京都墨田区横網2-2-25

### 日本音楽高等学校

東京都品川区豊町2-16-12

### 立正大学付属立正中学高等学校

東京都大田区西馬込1-5-1

### 上野学園中学校・高等学校

東京都台東区東上野4-24-12

### 村山 サンドラー 先生

TEL : 03-3376-2244

### 石井 和彦 先生

TEL : 03-3291-3824

### 高橋 知仁 先生

TEL : 03-3910-6161

### 川並 芳純 先生

TEL : 047-392-8111

### 上田 翼 先生

TEL : 03-3263-3011

### 宇野 穎弘 先生

TEL : 048-737-7611

### 安原 正樹 先生

TEL : 03-3312-1111

### 横山 孝治 先生

TEL : 03-3717-1196

### 浅見 尚次郎 先生

TEL : 03-3910-0151

### 井出 秀己 先生

TEL : 03-3816-6211

### 三浦 圭 先生

TEL : 03-3762-7336

### 野中 修也 先生

TEL : 03-3911-7109

### 河村 文夫 先生

TEL : 03-3467-2130

### 伊東 充 先生

TEL : 03-3782-1502

### 實吉 幹夫 先生

TEL : 03-3451-0912

### 河合 孝允 先生

TEL : 03-3828-4141

### 高橋 英夫 先生

TEL : 03-3658-4111

### 仁木 健嗣 先生

TEL : 03-3624-2666

### 伊庭 崇 先生

TEL : 03-3786-1711

### 今田 正利 先生

TEL : 03-6303-7683

### 高橋 公三子 先生

TEL : 03-3847-2201

### 二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

### 村田女子高等学校

東京都文京区本駒込2-29-1

### 自由学園(中等部・高等部)

東京都東久留米市学園町1-8-15

### 京華学園

東京都文京区白山5-6-6

### 武蔵野大学千代田高等学院

東京都千代田区四番町11

### 目黒日大中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

### 共栄学園中学高等学校

東京都葛飾区お花茶屋2-6-1

### 中村中学・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15

### 文教大学付属中学高等学校

東京都品川区旗の台3-2-17

### 国際高等専門学校

石川県金沢市久安2-270

### (株)私塾界

東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F

### デザインオフィスズキ

千葉県柏市柏687-6

### (株)POPER

東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F

### (株)塾と教育社

東京都千代田区飯田橋4-4-8-310

### (株)ブックモールジャパン

埼玉県戸田市上戸田4-2-33 日教販戸田センター

### 教育開発出版(株)

東京都杉並区下高井戸1-39-12

### (株)クロノクリエイト

東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F

### (株)声の教育社

東京都新宿区新小川町8-15

### ソルナ(株)

東京都中央区築地2-9-4 SOLUNA BLD

### アロー教育総合研究所

東京都千代田区神田小川町3-8-5F

### (株)サンケイワーク

大阪府大阪市福島区玉川2-8-4-3F

### 車田 忠継 先生

TEL : 03-3261-9288

### 遠藤 賢 先生

TEL : 03-5940-4455

### 更科 幸一 先生

TEL : 042-422-3111

### 今野 巍 先生

TEL : 03-3941-6493

### 岡田 孝子 先生

TEL : 03-3263-6551

### 天野 正貴 先生

TEL : 03-3492-3388

### 松宮 博 先生

TEL : 03-3601-7136

### 富田 義道 先生

TEL : 03-3642-8041

### 神戸 航 先生

TEL : 03-3783-5511

### 松尾 多郎 先生

TEL : 076-248-1080

### 山田 未知之 様

TEL : 03-3987-0838

### 鈴木 学 様

TEL : 04-7164-8276

### 栗原 慎吾 様

TEL : 03-6265-0951

### 加藤 麻由美 様

TEL : 03-6265-6855

### 攬上 聰 様

TEL : 048-447-7457

### 糸井 幸男 様

TEL : 03-3304-5291

### 添田 大亮 様

TEL : 03-5468-6986

### 中村 千尋 様

TEL : 03-5261-5061

### 森 雅人 様

TEL : 0120-934-515

### 古川 貴央 様

TEL : 03-3259-2851

### 橋本 光幸 様

TEL : 06-6445-0688